

環境経済・政策学（3）

1. 環境問題と環境政策

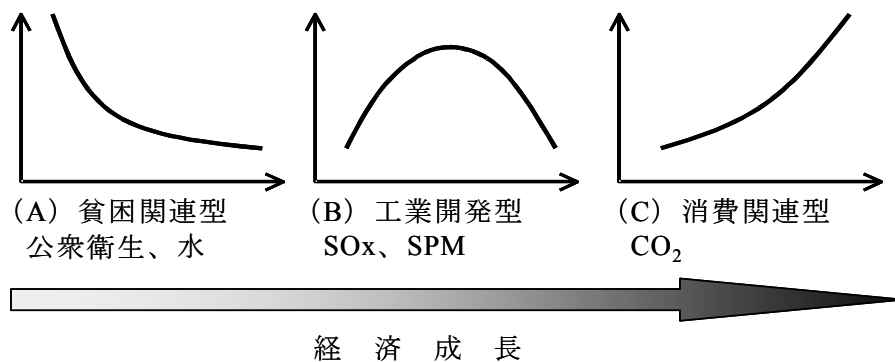
（1）環境問題

環境問題の類型：健康への影響（疫学調査）、生態系への影響

- ・ブラウン系：大気汚染対策、水質汚濁対策、土壌汚染対策、騒音、振動、悪臭、地盤沈下
越境型汚染：酸性雨
- ・グリーン系：自然保護（自然保護区、国立公園、野生生物保護）、森林政策、漁業政策
- ・地球環境問題：オゾン層保護、地球気候変動、生物多様性、砂漠化

- ・貧困型環境問題、工業型環境問題（環境クズネッツ曲線：EKC）、消費型環境問題

図1 経済成長と環境問題の類型



（出所）松岡（2004）、原図は Bai 他(2000)。

（2）日本の環境対策の歴史

1964 横浜市公害防止協定

1967 公害対策基本法

1968 大気汚染防止法

1970 公害国会、水質汚濁防止法

1971 環境庁

1972 自然環境保護法（ストックホルム人間環境会議）

1973 公害等健康被害補償法（1987改正）、PPP: 汚染者負担原則

1992 （リオ、地球サミット・国連環境開発会議）

1993 環境基本法

1994 環境基本計画

1997 環境影響評価法

1998 地球温暖化対策推進法

2000 循環型社会形成推進基本法

2001 環境省

2002 自然再生推進法（ヨハネスブルグ WSSD）

2. 環境政策の類型：直接規制（CAC）：排出基準と技術基準

（1）日本の大気汚染対策：環境基準と排出基準

排出基準

（固定源）工場

SO_x : K 値規制（1968） $q=K \times 10^{-3} \times H_e^2$

q : kg/Nm³/h、K 値（地域係数） : 3.0-14.5 (17.5)、 H_e : 有効煙突高

総量規制（1974）

（移動源）自動車排気ガス規制 : SO_x, NO_x, PM10, PM2.5

・技術基準 : 三元触媒（NO_x、CO、HC）

（2）日本の水質汚濁対策

水質基準 ①生活環境項目: pH, BOD, SS, DO, Coliform

②健康項目 Cd, T-CN, Pb, Cr, As T-Hg, Org-Hg, PCB etc. total 23 substances

河川: AA, A, B, C, D, E、湖沼: AA, A, B, C、海域: A, B, C and I, II, III, IV

排水基準（1970 水質汚濁防止法）、総量規制（1979）→閉鎖性水域 COD、T-N、T-P

・技術基準 : 合併浄化槽

（3 アメリカの Technology Based Effluent Standards (TBES)

大気汚染対策

1970 Clean Air Act: 既存工場 : Reasonable Available Control Technology (RACT)

新設工場 : Lowest Achievable Emission Rate (LAER)

深刻な汚染地域 : Best Available Control Technology (BACT)

水質汚濁対策:

1972 Water Pollution Control Act Amendments: Best Practicable Technology (BPT)

Best available Technology (BAT) 1983

1977 Clean Water Act: Best Conventional Technology (BCT)

1987 Water Quality Act: Technology-based effluent standards

3. 日程

第1部 環境政策の基本的類型と環境問題

1. イントロダクション（環境問題と環境政策：大気汚染対策） 4/06

2. 環境政策の類型：直接規制 4/13、4/20

3. 環境政策の類型：市場的手法 4/27、5/11

4. 環境政策の類型：自主的手法 5/18、5/25

5. 環境問題と環境政策：地球環境問題 6/01

第2部 環境政策の評価

6. 費用便益分析 6/08、6/15

7. 環境の経済的評価 6/22、6/29

8. 環境政策の評価基準と評価方法 7/06、7/13

第3部 まとめ

9. まとめ・試験 7/20